

目次

4. 保守	4-2
4.2. データ保守	4-2
4.2.1. データの保管	4-3
4.2.2. データの復元	4-5
4.2.3. 取引データの一括削除	4-6
4.2.4. サンプルデータの一括削除	4-8

4. 保守

4.2. データ保守

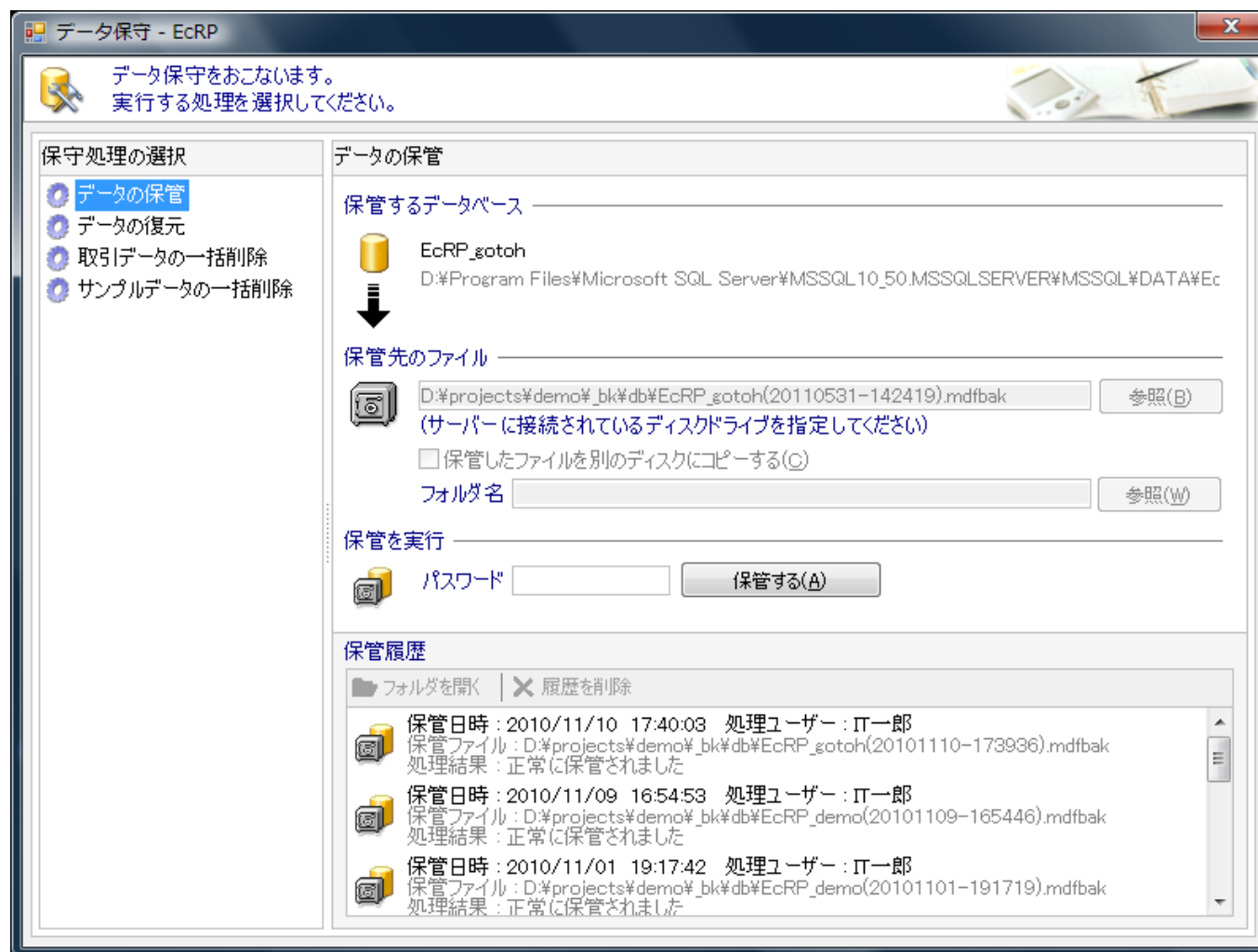


図 1 データ保守の画面

- ・ 画面の左側に保守処理の選択が表示されます。
- ・ 画面の右側に選択した項目の実行画面が表示されます。

4.2.1. データの保管

データの保管

保管するデータベース

 EcRP2008_gotoh
C:\EcRP\db\EcRP2008_gotoh.mdf

↓

保管先のファイル

 D:\projects\demo\bk\db\EcRP2008_gotoh(20101116-185347).mdfbak 参照(B)

☐ 保管したファイルを別のディスクにコピーする(C)

フォルダ名 参照(W)

保管を実行

 パスワード 保管する(A)

保管履歴

フォルダを開く | 履歴を削除

 保管日時: 2010/11/10 17:40:03 処理ユーザー: IT-一郎
保管ファイル: D:\projects\demo\bk\db\EcRP_gotoh(20101110-173936).mdfbak(ファイルが...
処理結果: 正常に保管されましたが、保管ファイルがありません

 保管日時: 2010/11/09 16:54:53 処理ユーザー: IT-一郎
保管ファイル: D:\projects\demo\bk\db\EcRP_demo(20101109-165446).mdfbak(ファイルが...
処理結果: 正常に保管されましたが、保管ファイルがありません

 保管日時: 2010/11/01 19:17:42 処理ユーザー: IT-一郎
保管ファイル: D:\projects\demo\bk\db\EcRP_demo(20101101-191719).mdfbak(ファイルが...
処理結果: 正常に保管されましたが、保管ファイルがありません

図 2 データの保管画面

- データベースを保管するために必要な情報を入力して、データベースの保管を実行します。

【項目説明】

No	項目名称	内容	値	備考	参照元
保管するデータベース					
1	データベース名	保管するデータベースを表示		EcRP のデータベース名・物理ファイル名が表示されます。	

保管先のファイル

2	ファイル名	保管先のファイル名を入力	前回の値	スタンドアロン版・サーバー版のときに設定可能です。 「参照」をクリックして、保管先のファイルを設定します。
3	保管したファイルを別のディスクにコピーする		前回の値	保管したファイルを別のディスクにコピーするときにチェックします。
4	フォルダ名	コピー先のフォルダ名を入力		「保管したファイルを別のディスクにコピーする」をチェックしたときに設定可能です。 「参照」をクリックして、保管したファイルのコピー先を指定します。

保管を実行

5	パスワード	パスワードを入力		環境設定に登録したパスワードを入力します。
6	保管する			データベースの保管を実行するときにクリックします。

4.2.2. データの復元

データの復元

保管したファイル



↓

復元されるデータベース

 EcRP2008_gotoh
C:\EcRP\db\EcRP2008_gotoh.mdf

復元を実行

 パスワード

※ご注意

- ・この処理の実行前には、他の処理画面をすべて閉じてください。
- ・復元すると、現在のデータベースは上書きされて内容が消えてしまいます。
- ・十分に注意して処理を実行してください。

保管履歴

 履歴の保管ファイルを選択  フォルダを開く  履歴を削除

 保管日時：2010/11/10 17:40:03 処理ユーザー：IT-一郎
保管ファイル：D:\projects\demo\bk\db\EcRP_gotoh(20101110-173936).mdfbak(ファイルが...
処理結果：正常に保管されましたが、保管ファイルがありません

 保管日時：2010/11/09 16:54:53 処理ユーザー：IT-一郎
保管ファイル：D:\projects\demo\bk\db\EcRP_demo(20101109-165446).mdfbak(ファイルが...
処理結果：正常に保管されましたが、保管ファイルがありません

 保管日時：2010/11/01 19:17:42 処理ユーザー：IT-一郎
保管ファイル：D:\projects\demo\bk\db\EcRP_demo(20101101-191719).mdfbak(ファイルが...
処理結果：正常に保管されましたが、保管ファイルがありません

図 3 データの復元画面

- ・ データベースを復元するために必要な情報を入力して、データベースの復元を実行します。


【項目説明】

No	項目名称	内容	値	備考	参照元
保管したファイル					
1	ファイル名	保管したファイル名を入力		「参照」をクリックして、保管したファイルを設定します。	
復元されるデータベース					

2	データベース 復元されるデータベースを表示 名	EcRP のデータベース名・物理ファイル名が表示さ れます。
復元を実行		
3	パスワード パスワードを入力	環境設定に登録したパスワードを入力します。
4	復元する	データベースの復元を実行するときにクリックしま す。 サーバー版は、他のユーザーが EcRP を利用して いると、復元を実行できません。

4.2.3. 取引データの一括削除


取引データの一括削除

 過去の取引データを一括削除します。
この処理の前に、請求と月次の締め処理を確認し、データの保管をおこなってください。
この処理で削除したデータを復活して元に戻すことはできません。
十分に注意して実行してください。

処理の前に次の内容をチェックしてください

締め処理は、請求締め、月次締めともに正しく処理されていますか？ ☐ はい ☐ いいえ

この処理の直前に、データの保管をおこないましたか？ ☐ はい ☐ いいえ

削除日付 / /  指定した削除日付以前の取引データを削除します。
2010/10/31以前の日付を指定してください。

パスワード

一括削除の履歴


削除日付	処理日時	処理ユーザー	処理結果
 2010/10/31	2011/02/09 10:55	IT一郎	正常に終了しました

図 4 取引データの一括削除画面

- ・ 過去の取引データを一括削除します。

【項目説明】

No	項目名称	内容	値	備考	参照元
1	締め処理は、請求締め、月次締めともに正しく処理されていますか？			「はい」「いいえ」の中から選択します。	
2	この処理の直前に、データの保管をおこないましたか？			「はい」「いいえ」の中から選択します。	
3	削除日付	一括削除する日付を入力		一括削除する日付を入力します。この日付以前の取引データが削除されます。	
4	パスワード	パスワードを入力		環境設定に登録したパスワードを入力します。	
5	一括削除を実行			「締め処理は、請求締め、月次締めともに正しく処理されていますか？」「この処理の直前に、データの保管をおこないましたか？」で「はい」を選択したときにクリック可能です。 取引データの一括削除を実行するときにクリックします。	

4.2.4. サンプルデータの一括削除

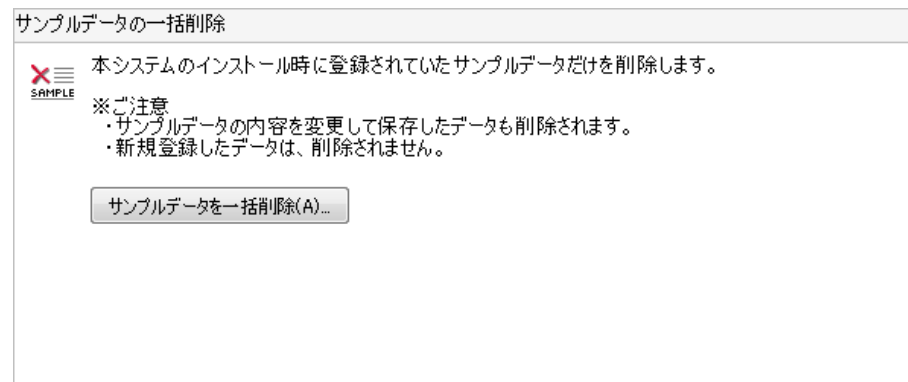


図 5 サンプルデータの一括削除画面

- ・ サンプルデータを一括削除します。

【項目説明】

No	項目名称	内容	値	備考	参照元
1	サンプルデータを一括削除			サンプルデータの一括削除を実行するときにクリックします。	

図表番号

図 1	データ保守の画面	4-2
図 2	データの保管画面	4-3
図 3	データの復元画面	4-5
図 4	取引データの一括削除画面	4-6
図 5	サンプルデータの一括削除画面	4-8